

公開ワークショップ

革新省エネ分離による廃水からの希少金属循環 — COF 膜・FO 膜が拓く資源回収技術の最前線 —

主催 : 独立行政法人 環境再生保全機構

共催 : 東北大学 多元物質科学研究所、神戸大学 先端膜工学研究センター、栗田工業株式会社

日時 : 2026年6月22日(月) 14:00-16:40

開催方法: オンライン (Zoom)

申込先 : https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSfswWiLY9-mE9CSZVfLs97H_zC5S0gw8R_pBbQu-mAuvXR5vQ/viewform?usp=publish-editor

開催趣旨: 本ワークショップは、ERCA 環境研究総合推進費プロジェクト「革新省エネ分離技術による廃水からの希少資源循環」の研究成果を広く社会に発信し、その意義と将来展望を共有することを目的として開催するものである。第一部では、プロジェクトの全体像を概説するとともに、鍵技術である膜分離の原理と本研究における先進的取り組みについて紹介する。続く第二部では、招待講演者により膜技術の多様な応用展開について俯瞰し、分野横断的な知見を提供する。産学官の研究者が一堂に会し、希少資源循環の重要性と膜技術の可能性に対する理解を深めることで、環境問題の解決に資する新たな連携と共同研究の創出を促進することを期待するものである。

プログラム:

14:00 根岸雄一 東北大学多元物質科学研究所

「趣旨説明」

第一部: プロジェクト関連

14:20 根岸雄一 (東北大学多元物質科学研究所)

「金属選択的共有結合性有機構造体 (COF) 吸着膜の開発」

14:50 岡本泰直 (神戸大学先端膜工学研究センター)

「超耐酸性正浸透 (FO) 膜の開発」

15:10 川勝孝博 (栗田工業株式会社)

「希少金属資源循環におけるシステム開発」

15:25 休憩

第二部: 関連分野の展開

15:40 稲木信介 (東京科学大学物理理工学院)

「電解発生酸によるイミン系 COF 薄膜のその場作製と電気化学応用」

16:10 比嘉充 (山口大学工学部)

「イオン交換膜を用いた電気透析法等による廃水からのイオンの回収」